

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 福島県立平支援学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	中学部1・2ブロック8名、高等部1・2ブロック8名 合計16名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 (講演会、陸上体験会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	東京パラリンピック選手からの講演・実技を通して、スポーツの意義や価値への理解を深め、スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成を図るとともに生涯を通して主体的にスポーツに親しむことができるようにする。
5 取組内容	パラリンピック選手講演会・陸上体験会 (1) 13:30~14:00講演会・質疑応答 (2) 14:00~14:50陸上体験 (3) 14:50~15:00生徒からお礼の言葉



<p>6 主な成果</p>	<p>講演会では、本選手より自分の視覚障がいの見え方について説明があった。また、陸上に出会ってからは、苦手な事にも取り組んだり、自分で考えて行動するようになったりと積極的になれたこと、「今はできないけれど自分の意思で挑戦する」という気持ちは、今の自分を超えて成長していけること、挑戦できる環境にあることに感謝の気持ちを持ちながら、いろいろなことにチャレンジしてほしいこと、等の話があった。</p> <p>陸上体験会では、佐々木選手の走り方のデモンストレーション後に、車いすのこぎ方や歩行ができる生徒達の走り方について指導があった。車いすをこいだり、走ったりしながら直接助言を受けた。生徒達は、色々な技法を教わることで、今まで以上に陸上に対する興味・関心を持ち、スポーツを楽しむ心を育成することができた。</p> <p>体験後の生徒からは、「来年の大会では記録を出せるように頑張りたい。もっと速く車いすをこぎたい。100mを早く走りたい。」「努力は裏切らない、挑戦（チャレンジ）は次のレベルアップにつながるという言葉が心に残った。」などの感想があった。</p> <p>今後もオリパラ教育を継続し、生涯を通して主体的にスポーツに親しむことができる生徒の育成が図れるように指導を充実させていきたい。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県出身の選手から話を聞くことで、パラリンピックが身近に感じることができ、陸上競技や東京オリンピック・パラリンピック大会に大変興味関心を持つことができた。 ・正しい車いすのこぎ方や歩行ができる生徒の走り方のフォームを教えてもらうだけでなく、実際に生徒が走ることで、一人一人に助言をもらうことができた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響でソーシャルディスタンスを考え、小人数での活動に制限せざるを得ない状況あった。 ・必要物品の購入に制限があり、効果的な指導が難しい。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>オリパラの推進校が終了しても学校独自で引き続きオリパラ種目等の教育を進めていきたい。</p>